

トロイ バグナル 米国出身の元キリスト教徒

:

明:米国人キリスト教徒が、その 明快さからイスラ ム改宗に至ります。

目:[事新改宗者ムスリムの逸 男性](#)

より: トロイ バグナル

日 05 Oct 2015

集日 05 Oct 2015



私の名はトニ バグナルといます。私は22 歳の、米国アリゾナ州にあるアリゾナ州立大学 (ASU) の学生です。私は映像 メディア研究学部で学んでいます。

私は今年の2月に 様々な理由からイスラ ムに改宗しました。ニュースや 事で盛んに となっているため、イスラ ムについてはずっと 味を抱いていました。私は古代の 史や世界史、争や政治にとっても 心を持っています。

ス ダン、ソマリア、パレスチナ、イラク、アフガニスタン、パキスタン、チェチェン、レバノンなどでの 争についての 道に耳にすると、私はそれらの地域で何が本当に起きているのかを理解するために自分で精 神します。なぜなら、ここのメディアの姿 は公正かつ非偏向的な方法ではなく、非常に漠然とした 明しかな 向があるからです。

それらの争について すると、ムスリム世界の 史について学ぶことに 味を持ちました。それでムスリム世界の 史や文化について学ぶことに を やすようになりまし。また、ASUでも「イスラ ム文明」という を受 しまし、ムスリム世界の 史や文化を学ぶと、次にその宗教であるイスラ ムそのものにも 味を持ちました。

私はキリスト教徒として育てられました。が、15 で 践を止めてしまっていました。 人的には、キリスト教はとても混乱に ちており、非 理的だと思いました。三位一体、また罪の教 は、バイブルの中でそれが否定されている矛盾したもので、全く理にかなったものではありません。

イスラ ムの 史の を受 したとき、そこでバイブルやクルア ン、そしてアブラハムの3大宗教すべてに精通したムハンマド ト タという人物に出会いました。私たちは比 宗教について し みました。私は自分でも研究を始め、いかにキリスト教が自らの 典に矛盾しているかということにさらに思い知りました。

私はいかに多くのバイブルのくだりが、 にはイスラ ムを支持しているかについて学びました。また、「バルナバの福音」がムハンマド（彼に平安あれ）の到来を名指して予言していることにも 味を き立てられました。この福音 も、バイブルから切り されています。

そしてクルア ンの完璧さは、 きを超えていました。クルア ンは至 シンプルで理解し易いことが分かりました。イスラ ムそのものも非常にシンプルであり、 解な教 などなく刀直入です。イスラ ムはキリスト教のような盲目的信仰を求めません。

また、そこにはユダヤ教にはない充足感があります。なぜならユダヤ教では、たとえばイエス（彼に平安あれ）や洗礼者ヨハネ（彼に平安あれ）のような 期の 言者たちを否定しているからです。

イスラ ムについて学べば学ぶほど、キリスト教からなぜ 信のなさを感じていたのか 得できるようになりました。 、イスラ ムに改宗した今になって、キリスト教徒の よりもバイブルとキリスト教そのものについてより良く理解するようになりました。

ムスリムとして、より神を感じ取れるようにもなりました。キリスト教を批判するわけではありませんが、それはイエス（彼に平安あれ）自身の教えというよりも、パウロや使徒の教えに基づいたものというに人的には感じています。

また、私は宗教の史について、いかにそれらが祥し世界にまったかということもをかけて学びました。ここ西世界で、イスラムはエキゾチックな洋の宗教として描写されますが、それは他のすべての言者たちが遣わされ、いた教えと同じ「神への服」に他なりません。メディアが常々イスラムを否定的に描いていることは、とても残念です。

ムスリム社会の一部で争や暴力が蔓延していることも理解していますが、それらの争は宗教ではなく政治的要因がより大きいのです。

いつもメディアがイスラムについて否定的ステレオタイプな道をする米国に在住している私にとって、イスラムの践は困であることはめます。また、多くの米国人大学生たちが放なパーティライフをててイスラムに改宗しているわけでもないため、人的にも多少は困です。

ただ私はいつも部屋にこもって勉するのが好きなため、私自身にとっては、さほどではありませんでした。私は非ムスリムからよく中の政治や文化についてされますが、彼らには何が本当のイスラムなのか、そして何が政治的イデオロギや文化的なものなのかといったいを示す必要があります。

中は明らかにムスリム世界の中心ではありますが、ムスリムは世界中にいるにもわらず、メディアが常にムスリムを中出身者であるかのように描くことは残念です。西世界はユダヤ教やキリスト教がイスラムと同じように中の祥であることをしがちで、そこには人差的な要素も加わっているのでしょう。

私はイスラムが、その信徒たちのに普遍的な一感をもたらすこともとてもに入っています。イスラムは私により良い人格を形成してくれました。

イスラムの 践をしているときは安堵感に包まれます。それは人生についてよりよい展望をもたらしてくれるだけでなく、ストレスや人生の中の 解にも寄与してくれます。

私は西 世界の人々が、イスラムについてメディアが流布するような否定的描写、また必ずしも正 であるとはいえない批判などに耳を けるのではなく、ムスリム世界について、そして何が本当のイスラムなのかについてよりよい知 を得ることができるよう心から っています。

私の改宗 が、イスラムに 心のある人々、そしてイスラムについてより多くを学んでみたいという人々の心に届きますように。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/2561>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。